8 高農セ第 40 号
令和 8 年 4 月 14 日

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和８年度病害虫発生予察技術情報第１号

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等)の発生状況について

県内 4 地点で実施している果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ(写真 1)、ツヤアオカメムシ(写真 2)等)のフェロモントラップ調査では、中央部、中西部、西部において 4 月第 1 半旬に平年を大きく上回る発生が見られており、本虫の発生が多かった令和 6 年度を上回っています(表 1)。また、昨年は東部、中央部、西部で 9 月第 5 半旬から平年を上回る発生が見られ、10 月には西部で急増しました。その後、冬季の気温は平年並から高く推移したことや、隣県(徳島県、愛媛県)の果樹カメムシ類越冬調査において、平年を上回る越冬量が確認されていることなどから、本県においても果樹カメムシ類の越冬個体数は多いと考えられ、今後の発生に注意が必要です。

本虫の飛来は、曇天で湿度が高く夜温の高い日に多くなる傾向があり、向こう 1 ヶ月予報では気温は高く降水量も多いと予想されており、果樹園(ビワ、モモ、スモモ、ナシ、カンキツ類等)に飛来し被害が拡大する可能性があります。そのため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、速やかに薬剤による防除を実施してください。

薬剤防除に当たっては、高知県病害虫防除指針(高知県農薬情報システム(https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/kochi)内に掲載) を参照し、農薬使用基準の遵守及び周辺農作物等への飛散防止対策の徹底をお願いします。

表１　フェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数

		東部	中央部	中西部	西部
4月 第1半旬	令和8年	0	5	14	22
	令和7年	0	0	1	0
	令和6年	2	1	8	4
	平　年	0.5	0.3	7.7	5.5

東部:安芸市井ノロ、中央部:香美市土佐山田町宮ノロ、中西部:須崎市浦ノ内、西部:四万十市竹島
誘殺数はチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計
平年値は平成 28 年～令和 7 年の 10 か年の平均

写真１　チャバネアオカメムシ

写真２　ツヤアオカメムシ

お問合せは、病害虫防除所(TEL：088-863-1132)または環境農業推進課(TEL：088-821-4861)